

佐田行革相が辞任

「架空経費」で引責

佐田玄一郎行政改革担当相は二十七日夕、内閣府で記者会見し、架空の事務所経費の支出を政治資金収支報告書に虚偽記載していた問題に関する調査結果を公表するとともに、政治資金の一部に不適切な処理があった責任を取って辞任する意向を表明した。佐田氏は会見に先立ち、安倍晋三首相に辞任の意向を電話で伝え、首相も了承した。

首相は後任の人選に着手したが、本間正明政府税調会長が公務員宿舍への不適切人居問題で辞任したばかりで、首相の任命責任が問われるのは必至だ。

佐田氏は会見で「国民に誤解と不信の念を抱かせたことに、深くおわび申し上げる」と述べた。

また、佐田氏は「政治団体間の経費の付け替えがあったとすれば違法性があるのではないか」と述べた。



2006年12月27日発行